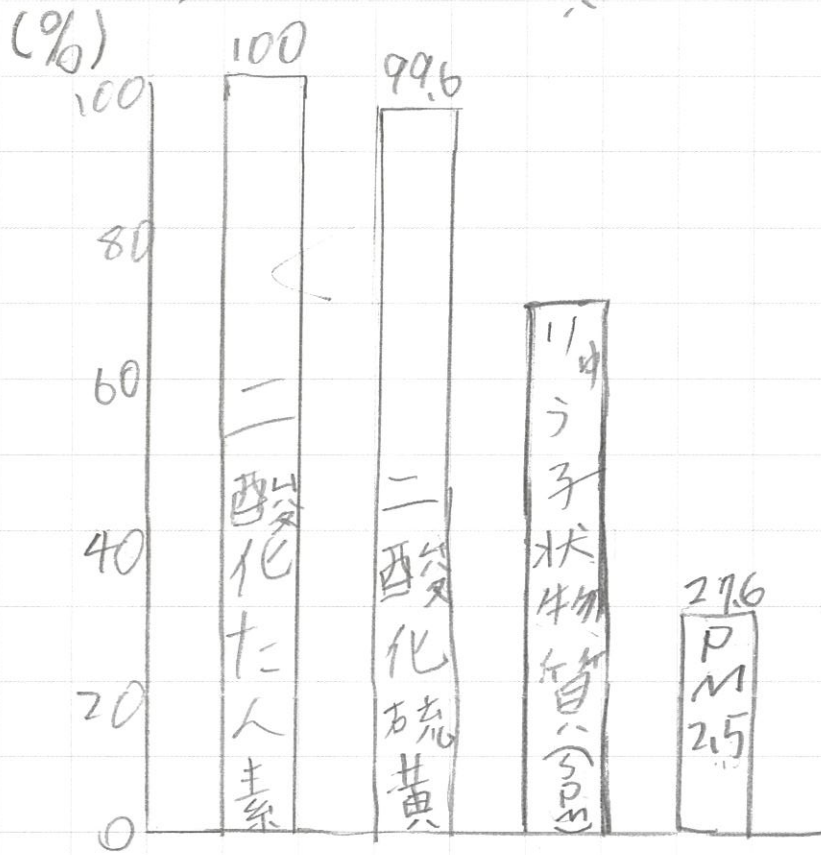


空気おせ人とは、自動車のはいきがスや工場から出てくるけ
おりで空気がよごれてしまう事です。きたない空気をくわすっ
てしまうと身体に悪いと言われていきます。今では電気自動車か
水素車などかふえてきていて今後は昔に比べ空気がきれいにな
っていくと言われていきます。PM2.5などにフッては、決め
られたおせ人物質ののうどをこえる場所が多々、対さくを進め
ていく必要があるえうです。

大気おせ人物質のれ人境き準達成りつ(国内)



現在行われている空気おせ人対さく

しせつ・工場の対さく

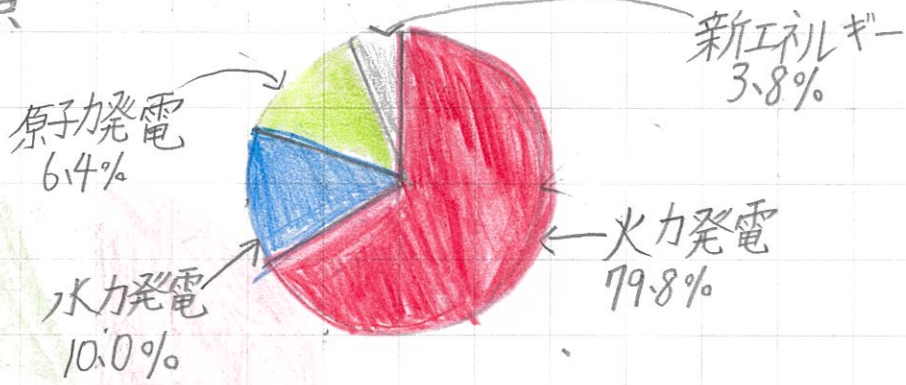
おせ人物質をはい出する施設・
工場ごとに、法リつではい出き準
を決めてきせいしていきます。

自動車の対さく

自動車のはいがスにのくま
れるおせ人物質の量を法リ
つできせいし、年々強化し
ていきます。またおせ人物質
をおまりはい出しなれ自動車
をたぬるためこう入の際
に一定かゝのお金をほ助す
ることや、その自動車にか
かるせい金を軽くする取組
など"を行つていきます。

わたしの家は、太陽光も使って生活しているからそのことについて知りたいと思って調べました。

発電の種類



左の図を見ると火力発電の割合がとても高いことがわかる。

CO₂ はなぜ排出されるのか？

化石燃料を使用しているから。燃焼してエネルギーを発生する際にCO₂が排出される。

自宅では、オール電化で、屋根に42kwの太陽光パネルと蓄電池を設置しており、深夜電力を買い、日中、太陽光で発電した電気を売電している。

太陽光発電のメリット

太陽光発電は再生可能エネルギーの代表格でありCO₂排出量やエネルギーコストを軽減できる、災害時の非常電源としても使える、などのメリットがある。

6月の自宅の電力の収支

7ヶ月の電力の収支については太陽光で発電した電力量は516.3kw、買った電力は354.3kw、そのうち家でつかったのが518.5kw、売電したのは352.0kwだった。買った電力と売った電力はほぼ同じことがわかる。深夜電力を買っている分と太陽光発電を蓄電池で貯めた分を使っている。昼間の太陽光発電で余った分を売電している。この余って売電している分を生活に使用したらエコになると思う。

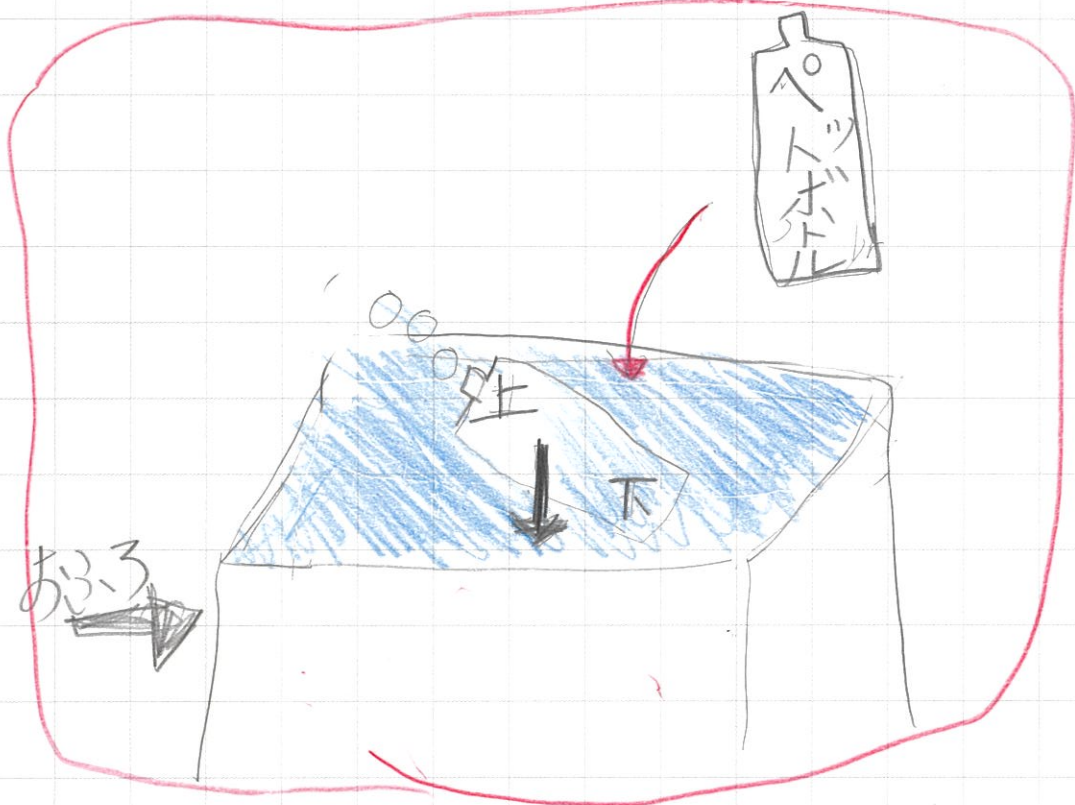
今後改善できること

夜シャワーの浴びる時間を1分でも減らす。理由は家では給湯器で湯を沸かす電力使用を抑えるため。

昼間に電気をつけないで自然光で過ごす。理由は、自然光だと電力を使わなくていいから。

昼間太陽光で貯めた電力で、料理をしたりお湯を沸かしたりする。夜遅くまでテレビを見たりゲームをしたりしないで早めに寝るようにすると夜間の電力を使わずに済む。

エコチャレンジ!!



いつも流していたお風呂のお湯は、外の植物の水やりに使うことにしました。そこで空のペットボトルにお湯を入れて水やりを使うことにしました。

ペットボトルに水を入れる時は、ペットボトルの底をななめ下にしながら空気をぬきながらお湯を入れるとパンパンに入ります。

ペットボトルのキャップにあなをいくつかを開けるとシャワーのように水が出ます。あなを開ける時は、キャップがかたいので大人に開けてもらいましょう。



お風呂ののこり湯は、さいがい用にも使えるのでお風呂上がりは、のこしておくようにわたしの家は、しています。

ぼくは、CO₂を減らすことについて、さくげんする方法を何個か考えました。

まずどうしてCO₂が増えるのかを考えました。例は、^{図1}必要がない時のクーラーのつけっぱなし、^{図2}必要のない時の電気のつけっぱなしだとぼくは思います。

次にCO₂をさくげんするために考えたことを書きます。

- 1つ目は、ソーラーパネルを設置することです。^{図3}良い点は、電気を買う量がへる、^{図4}晴れた日に発電量が増える。悪い点は、^{図5}設置代が高い。くもりの日や雨の日には、発電量が落ちる、という点があります。

- 2つ目は、木を植える活動をする事です。^{図6}良い点は、O₂、(酸素)が増える、という事です。悪い点は、^{図7}手入れがむずかしい事です。

- 3つ目は、クーラーの温度を下げすぎない事です。^{図8}良い点はCO₂排出量が減るということです。クーラーは、温度を上げるより下げる方が電気代が高いのです。

ぼくは、3つの事を書いて、やはりCO₂をさくげんするには、一人一人の工夫が必要だと改めて知りました。

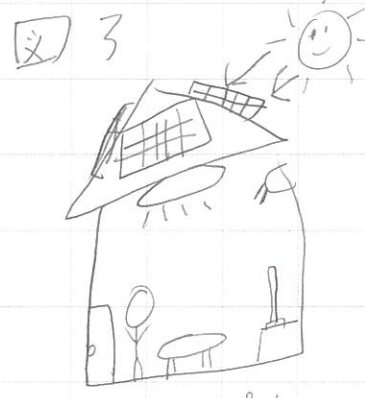
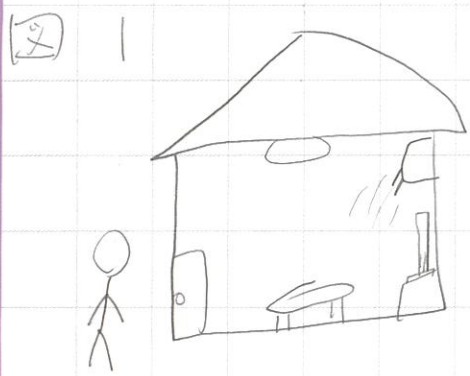


図1
出かけている時にクーラーをつけっぱなし。

図2
出かけている時に電気をつけっぱなし。

図3
ソーラーパネルがついてある。^{図4}晴れた日には発電がふえる。

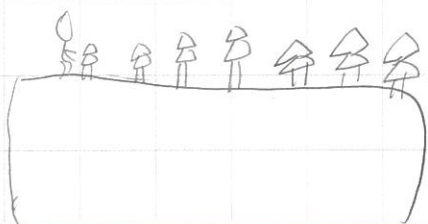
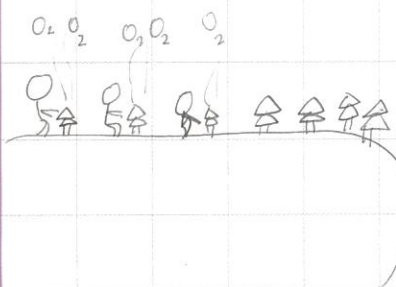
図4
くもっている日は発電が入っていない。曇りや雨がたか。

図5
O₂が増える

図6
手入れがむずかしい



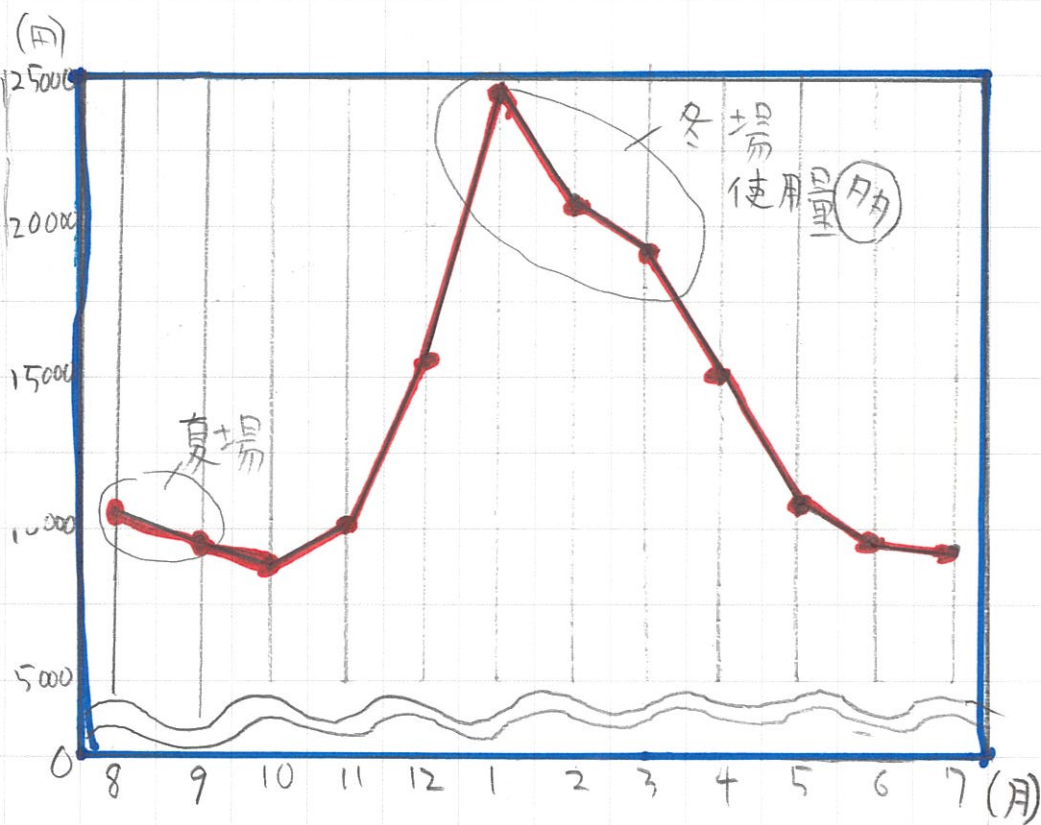
図7
温度を下げすぎない



節電にチャレンジ!!!

1. 日本の発電力の8割は、天然ガスや石炭、石油などの化石燃料を使用しており、火力発電のさいに多くの二酸化炭素を排出する。そのため節電をすると排出される二酸化炭素の量が減り、地球温暖化防止につながる。

2. まず、ぼくの家のこの1年の電気代をグラフにまとめた。ぼくの家は3人家族でこの1年の電気代の平均は、月13802円だった。2023年の全国の3人家族の電気代の平均は、月12811円だそうだが、ぼくの家は、使いすぎだということが分かった。そこで自分にもできることから節電に取り組むことにした。



3. ぼくが気をつけたこと。

- ① エアコンの設定温度を28℃にして、せん風機も使う。
- ② エアコンのきいた部屋のドアは開けはなさない。
- ③ できるだけみんなが1ヵ所に集まる。
- ④ 使わない部屋の電気は消す。
- ⑤ 冷蔵庫を開けたらすぐにしめる。
- ⑥ 見ないテレビはつけないようにする。
- ⑦ 使っていないコンセントはぬきスイッチを切る。
- ⑧ 家族の入浴する時間を空けないようにする。

4. 上のようになくさんの節電に取り組んで正直どれくらい節電できたのかおからないが、このようなことを毎日続けることで二酸化炭素の排出量を少しづつ削減できるのかもしれないと思う。ぼくの家では夏より冬の方が電気代が高いので冬の節電も考えたい。これからも自分にできることをがんばって続けていきたいと思う。